

組合員さんのお便りコーナー

わいわいポスト



● 今回のテーマは「わが家の鍋自慢」

娘に受け継いで

今、中3の娘を妊娠中に同じマンションの方に誘われて「よどがわ生協」に入っ
て以来16年、摂津市、茨木市、豊中市と転居した先でも、ずっとお世話になっていま
す。現在は個別配送ですが、今では私が仕事で留守の時は、その娘が配送箱から購入物を片付けてくれています。
(豊中市 きんもくせいさん)

ご飯のおとも...

ホタテ貝ひもわさびが大好きです。貝ひもの甘味と、わさびの辛みがあったかいご飯によくあいます。お酒は呑めないけど、おつまみにも良さそうです。
えんがわユッケ風も大好き!
(西淀川区 ふたごままさん)



一石二鳥

去年は点心鍋をよく利用しました。我が家では、スープは一回でなくなってしまうが、具材はたっぷり二回分!子どもも喜ぶし経済的で楽チン!一石二鳥ならぬ三鳥です。
(高槻市 ぼまさん)

エキスが出てます

お鍋の後で、雑炊もおいしいですが、鍋の残り汁で、ジャガイモなどを煮てもいろんなおいしいエキスが出た汁なので、おいしいです。チョツとした水を汚さないエゴにもなります。
(茨木市 サワッチさん)



好評!!

我が家では、子どもが小さい時は、おでんにシューマイやソーセージを入れていました。子ども用に入れていたのですが、ビールのおつまみに合うと主人にも好評でした。
(高槻市 クロチャンさん)

少量パックも嬉しいです

いつもお世話になっております。配達の方はよく鍋物をすすめて下さいます。一人暮らしですと、妙に余ってしまうので、敬遠しがちです。その点1点70グラムぐらいのしめサバやシシャモの冷凍物がお気に入りです。
(淀川区 中村 恵美子さん)



だしが最高

うちのお鍋は「つくね鍋」。鶏がらスープが沸騰したらつくねを入れてます。あとは、白菜がキャベツ、白ネギ、うす揚げ、しいたけ、えのき、豆腐、もやし、中華めん。ヘルシーでとってもおいしいです。つくねから出るだしが最高ですよ。雑炊もベリーグッド。ぜひ真似してください。



つくねの作り方

とりミンチ(モモ)、玉ねぎみじん切り、大葉みじん切り、しょうがみじん切り、卵黄1ヶ、片栗少々、酒少々
(淀川区 重倉麗子さん)

「CO・OP国産れんこん入りきんぴら水煮150g」の原料れんこん産地に関するお詫びとご報告

2008年3月から同年9月の期間に組合員の皆さまにお届けしました「CO・OP国産れんこん入りきんぴら水煮150g」について、原料のれんこんに中国産が使用された可能性が高いことが判明しましたので、お詫びの上ご報告します。
該当期間の上記商品の原料れんこんについては、岩国青果販売(株)(2008年11月廃業)から出荷されたものを使用しておりました。この10月22日、山口地裁で岩国青果販売(株)の青果物原料の産地偽装に関わる公判が行われ、その場で同社の元社長は同社取扱いのたけのこ、れんこんについて産地偽装を行っていたことを認めました。このことから、上記商品についても中国産原料が使用されていたものと判断いたしました。
表示通りの商品をお届けできなかったことについて深くお詫び申し上げます。
なお、この商品については残留農薬の検査等も行って安全性について問題のないことを確認しています。
今後につきましては、適正な原料管理の実施のためにいっそう点検を強化していきます。

NEWS FILE

ニュースファイル

講習会・交流会・体験

10月29日 視覚障がい者への手引き講習会(1回目)を開催しました

ちょっとした支えや心配りの「気付き」を学びました

第1回目の初級コースに11名の参加がありました。

今回のボランティア講座「視覚障がい者への手引き講習会」は、2回の企画で募集を行い、第1回目の講習会が行われました。

講習の内容は、まず目の病気のお話からはじまり、緑内障から景色が見えなくなる事や、糖尿病から合併症で失明や弱視になる事のお話を聞き、自己診断による早期発見の大切さと視覚障がい者の方の心理を学びました。



石段に上る手引きを行っています

視覚障がい者の方が、外出して一番怖い思いをする場所は、駅のプラットフォームです。慣れない駅では、プラットホームと電車との距離が駅によって違っています。そして、電車から降りて、出口を確認するのに困られます。次に交差点は、信号の替わるタイミングがつかみにくく人の動きなどで、判断されていますが信号が変われば、声をかけて頂くと有り難いそうです。視覚障がい者の方の通行道路の慣れにもよりますが、電車の乗り降りや空席のある場合は、少し声をかけて頂くと非常に喜ばれます。街で見かけたら、「〇〇お教えしようか?」と一言かけてみませんか?

《よどがわ》自慢の産直バナナ

生産者が来日、生協組合員と交流しました

1 993年「無農薬のバナナがほしい」という組合員の声から始まった産直バナナ。今年で15年目を迎えました。



タイ産直バナナ生産者

《よどがわ》からは毎年タイの生産地を訪れ、タイからも生産者が毎年来日され、交流が続いています。今年も、10月24日から6日間来日され、茨木と高槻の総代学習会へ参加されました。

組合員の「日本の印象は?」の質問に、生産者のソーンチャイさんは「とても温かい国民だと感



バナナはおいしいので毎週届く登録をしています。バナナを作って運んでこられるのに、こんなに手間がかかっているとは知りませんでした。バナナの生産をされていて喜びを感じるときはどんなときですか。

私が作ったバナナを買ってくれる人がいるというだけで嬉しく、誇らしく思います。

